

学校教育目標	○しっかり考える子(問題解決力) ○心やさしい子(人間関係形成力) ○つよく元気な子(体力・活力)	【目指す学校像】	○つながりを大切にし、学校・保護者・地域、みんなで作る笑顔あふれる武蔵野小学校
		【目指す児童・生徒像】	○児童が主体的に自ら考え、判断し、行動できる子。相手の気持ちを考え、人とのかかわりを大切にできる子。自分の心と体に関心をもち、自らの心身の健康管理や体力の向上を図れる子。
		【目指す教師像】	○子供たちに身に付けさせるべき知識や技能・態度を確実に定着させ、担任だけでなく、学校全体で子供たちを指導していき、大人も子供もウェルビーイングを目指す。

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策						
確かな学力	○基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。	○身に付けるべき知識や技能・態度や習慣を明確にし、確実に定着させることで、子供たちの学びを支える基盤づくりを行う。  ○タブレットの入れ替えを受けて、ICTを活用した授業を充実させ、児童の「情報活用能力」の育成を図る。  ○教科担任制の実施や専科教師との連携を図った指導及び、教員間の相互研鑽の充実を随時学校全体で子供たちを指導していく環境づくりを行う。	○単元テスト算教科の平均値(知・思)70点以上を目指す。 ○年度末実施の学力調査において目標値に達する結果を残す。	4   全教員が指導改善を図る。 3   80%~100%未満の教員が指導改善を図る。 2   70%~80%未満の教員が指導改善を図る。 1   70%未満の教員が指導改善を図る。		4   定期テストの平均が70点を上回っている学級が11学級以上 3   定期テストの平均が70点を上回っている学級が8~10学級以上 2   定期テストの平均が70点を上回っている学級が5~7学級以上 1   定期テストの平均が70点を上回っていない学級が4学級以下											
			○各学年で沼島市から示されている「子供たちに身に付けさせたいICT操作能力」を把握し、資質能力の育成を目指す。  ○全学年で授業交換等を実施、月3回以上相互研鑽の場を設定する。 ○全学年で授業交換等を実施、月2回程度相互研鑽の場を設定する。 ○全学年で授業交換等を実施、月1回程度相互研鑽の場を設定する。 ○全学年で授業交換等を実施、学期1回程度相互研鑽の場を設定する。	4   全教員が教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。 3   80%~100%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。 2   70%~80%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。 1   70%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	4   全学年で授業交換等を実施、月3回以上相互研鑽の場を設定する。 3   全学年で授業交換等を実施、月2回程度相互研鑽の場を設定する。 2   全学年で授業交換等を実施、月1回程度相互研鑽の場を設定する。 1   全学年で授業交換等を実施、学期1回程度相互研鑽の場を設定する。	4   全学年で授業交換等を実施、月3回以上相互研鑽の場を設定する。 3   全学年で授業交換等を実施、月2回程度相互研鑽の場を設定する。 2   全学年で授業交換等を実施、月1回程度相互研鑽の場を設定する。 1   全学年で授業交換等を実施、学期1回程度相互研鑽の場を設定する。		4   90%以上の児童がICT操作能力を身に付けている。 3   80%~90%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。 2   70%~80%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。 1   70%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。									
			○児童の自己肯定感を高め、常に相手のことを考える行動することができるようにする。  ○特別活動の児童会活動やたてわり班活動等の異学年交流を通して、自己有用感を高める活動を行う。	○学級の実態に応じた指導し、HQL調査を年2回実施し、結果を分析する。  ○児童主体の活動を行えるよう児童会活動の充実を図ったり、たてわり班での学年交流の充実を図ったりする。	4   全教員による分析と共有の場を設定する。 3   低中学年による分析と共有の場を設定する。 2   学年間による分析と共有の場を設定する。 1   学級内での分析と共有の場を設定する。	4   たてわり班活動の実施や、中央委員会等とし、児童主体の活動をすべての委員会が実施する。 3   たてわり班活動の実施や児童主体の活動を計画に対して70%程度、実施する。 2   たてわり班活動の実施や児童主体の活動を計画に対して50%程度、実施する。 1   たてわり班活動の実施や児童主体の活動を計画に対して30%未満、実施する。	4   2回目以上の結果で12学級以上で学級満足度の向上がみられる。 3   2回目の結果で9~11学級で学級満足度の向上がみられる。 2   2回目の結果で6~8学級で学級満足度の向上がみられる。 1   2回目の結果で5学級以下で学級満足度の向上がみられる。		4   40%以上の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 3   30%~40%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 2   20%~30%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 1   20%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。								
			○委員会活動や学級活動、行事などの中で児童が主体となる環境づくりを設定する。	○行事での実行委員会の設定や委員会活動での自発的な活動、学級での係活動等、児童主体の活動を実施する。	4   全教員が児童の主体性を生かした学習を行った。 3   80%~100%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った。 2   70%~80%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った。 1   70%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った。	4   全教員が児童の主体性を生かした学習を行った。 3   80%~100%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った。 2   70%~80%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った。 1   70%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った。		4   全教員が児童の主体性を生かした学習を行った。 3   80%~100%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った。 2   70%~80%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った。 1   70%未満の教員が児童の主体性を生かした学習を行った。									
			豊かな心	○相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる豊かな心を育成する。	○児童の自己肯定感を高め、常に相手のことを考える行動することができるようにする。  ○特別活動の児童会活動やたてわり班活動等の異学年交流を通して、自己有用感を高める活動を行う。	○体力向上プロジェクトや短なわや長なわの取組を実施し、運動することの楽しさやよさを味わわせる。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		4   体力テスト結果が都平均ポイントから+2ポイント以上 3   体力テスト結果が都平均比0~+2ポイント 2   体力テスト結果が都平均比-2ポイント以内 1   体力テスト結果が都平均比-2ポイント以下								
						○毎学期実施する「すまいるカード」の取組の結果を集計し、その結果を集計・分析し、日々の指導改善に努める。  ○3年3回の学校生活アンケートからみんながよりよく生活できるようにするためのアンケート項目を設定し、実施する。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%から100%未満の教員が計画的に指導した。 2   70%から80%の教員が計画的に指導した。 1   70%未満の教員が計画的に指導した。	4   40%以上の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 3   30%~40%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 2   20%~30%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 1   20%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。	4   40%以上の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 3   30%~40%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 2   20%~30%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 1   20%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。		4   40%以上の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 3   30%~40%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 2   20%~30%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。 1   20%未満の児童がすまいるカードの取組目標を達成している。						
						○幼児・小中が連携し、児童が安心して進級・進学できるようにする。  ○文化、スポーツ、高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	○幼児小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。  ○文化、スポーツ、高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。	4   全学年で、外部人材を活用した授業や交流体験を実施した。 3   80%~100%未満の学年で外部人材を活用した授業や交流体験を実施した。 2   70%~80%未満の学年で外部人材を活用した授業や交流体験を実施した。 1   70%未満の学年で外部人材を活用した授業や交流体験を実施した。		4   90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 3   80%~90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 2   70%~80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1   70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。						
						○職員が心身の健康と業務の効率化を図り、働きやすく、協働でできる職場環境を構築する。	○タイムマネジメントを意識した働き方改革を促し業務改善や効率化を推進する。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		4   全学年で外部人材を活用した授業を行った。 3   8学級以上で外部人材を活用した授業を行った。 2   6学級以上で外部人材を活用した授業を行った。 1   4学級以上で外部人材を活用した授業を行った。						
						輝く未来	○子供たちが自立し、未未来社会を切り開くための資質能力を身に付け、多様な人との関わりの中でコミュニケーション能力の育成を図る。	○幼児・小中が連携し、児童が安心して進級・進学できるようにする。  ○文化、スポーツ、高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	○幼児小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		4   90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 3   80%~90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 2   70%~80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1   70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。					
									○幼児小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		4   90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 3   80%~90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 2   70%~80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1   70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。					
○幼児小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。								4   90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 3   80%~90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 2   70%~80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1   70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。								
○幼児小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。								4   90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 3   80%~90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 2   70%~80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1   70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。								
働き方改革	○職員が心身の健康と業務の効率化を図り、働きやすく、協働でできる職場環境を構築する。	○タイムマネジメントを意識した働き方改革を促し業務改善や効率化を推進する。				○幼児小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		4   90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 3   80%~90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 2   70%~80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1   70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。								
						○幼児小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		4   90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 3   80%~90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 2   70%~80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1   70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。								
			○幼児小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		4   90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 3   80%~90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 2   70%~80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1   70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。											
			○幼児小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4   全教員が計画を活用した指導を行った。 3   80%~100%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 2   70%~80%未満の教員が計画を活用した指導を行った。 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った。		4   90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 3   80%~90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 2   70%~80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1   70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。											